

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No.80

令和5年7月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 2
- ・ 講演会のご案内 2

病院のトピックス

- ・ 呼吸器グループ 3
- ・ 小児科 5
- ・ 予約方法について 7
- ・ 診療科及び地域医療連携室の紹介 8
- ・ おおさか健康セミナー 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 10
- ・ NHO NEW WAVEについて 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人
国立病院機構

大阪医療センター

地域医療連携室

令和5年7月発行 80号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・専門医療と総合診療の充実
- ・医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



- 正しく
- 品よく
- 心をこめて

2) 高度先進医療への貢献

- ・技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・透明性を保った情報の開示・発信

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R5.6.30	シニアレジデント（外科）	梅津 匡宏	退職
R5.7.18	シニアレジデント（腎臓内科）	森 優希	退職

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R5.7.1	シニアレジデント（眼科）	大萩 麻衣	採用
R5.7.19	医師（腎臓内科）	森 優希	採用
R5.7.10	医師（麻酔科）	京 優妃	採用

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和5年7月22日	第70回おおさか健康セミナー	意外と身近な泌尿器科の病気とは 担当科：泌尿器科	一般市民向け ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂
令和5年10月8日	第59回法円坂地域医療フォーラム	担当科：呼吸器外科・呼吸器内科	医療従事者向け ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂
令和5年11月18日	第71回おおさか健康セミナー	いつまでも家で過ごしたいあなたと 家族のための講演会 ～フレイル予防と介護のあれこれ～	一般市民向け ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂

アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅⑩号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

呼吸器グループ



呼吸器内科と呼吸器外科の集合写真（図1）

左から、安藤 性實、東 浩志、二見 真史、南 誠剛（以上、呼吸器内科）、高見 康二、松井 優紀（以上、呼吸器外科）2023年06月09日、病院屋上にて撮影

平素は、当院に大切な患者さんをご紹介いただきまして、ありがとうございます。

呼吸器内科では、小河原 光正先生の定年退職に伴いまして、南 誠剛先生が大阪警察病院から後任科長として異動して参りました。加えて、大阪大学医学部呼吸器内科から、二見 真史先生と東 浩志先生の2名も派遣されました。現職の安藤 性實先生は残留していただきました。こうして、合計4人の呼吸器内科専門医が集合して、あらたな呼吸器内科を構成することになりました。

昨年度までは、肺癌や悪性胸膜中皮腫などの胸部悪性腫瘍に専門特化していたため、ご不便をおかけすることもあったかもしれません。しかしながら、新体制に伴いまして、今年度からは、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、間質性肺炎、呼吸器感染症などの幅広い呼吸器疾患にも対応しています。赴任後まもないものの、各関係部門のご協力のもと、以下のような修正・新規導入をしています。

- ① 気管支鏡検査を、過密スケジュールかつ手狭な内視鏡センター（2階）から、比較的枠の空いている放射線科透視室（1階）に移動することで、緊急検査にも対応しやすくなりました。（図3）
- ② 間質性肺炎の診断に必須な気管支肺胞洗浄（BAL）も、病理検査科・臨床検査科のご協力のもと、検査が開始しています。
- ③ 気管支喘息の診断検査として急速に普及してきた呼気NO濃度測定（NIOX VERO）も、5月23日から検査開始して、今後は順次、検査枠の拡大を計画しています。
- ④ 4月には、週2日（火・水曜日）外来から開始しましたが、5月からは二見先生（金曜日）が、6月からは東先生（月曜日）が、順次、外来をオープンしました。週4日体制で外来を開いておりますので、院内外からの紹介が受けやすくなりました。

呼吸器外科では、長年にわたり科長を務めております高見 康二先生に加え、4月より大阪大学呼吸器外科から松井 優紀先生を迎え、呼吸器外科専門医2名体制で診療を行っています。

原発性肺癌、縦隔腫瘍、胸膜疾患、転移性肺腫瘍等の胸部悪性疾患の外科的治療を中心に診療を行い、気胸、膿胸などの非悪性疾患も従来どおり積極的に受け入れています。

肺癌に対してはOncologyに基づき根治性を第一に考慮しつつ、比較的早期のものに対しては、術後の生活の質に配慮した肺機能温存手術や、患者様に優しい低侵襲手術としての胸腔鏡下手術を行っています。特に完全鏡視下肺葉切除/区域切除に積極的に取り組み、手術数は年々増加しています。最近の原発性肺癌および転移性肺腫瘍の完全鏡視下手術率は90%を超えています。また本年より、さらに精度の高い手術が可能なロボット手術（daVinci Xi）も開始しています。一方、進行した腫瘍に対しては、周辺臓器の合併切除再建等の手技を駆使して、根治を目指した拡大手術も行っています。

近年、高齢者や心血管障害、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、慢性透析、糖尿病などの併存症を有する手術対象患者様が増加してきています。当院では院内の専門他科の協力により、適切な術前評価、周術期管理を行うことができ、ハイリスクな呼吸器外科手術対象患者さんも積極的に受け入れ治療を行っています。

当院では、呼吸器内科と呼吸器外科との垣根のない連携診療を組んでおります。

肺癌などの悪性疾患に対しては精度の高い画像診断、気管支鏡生検、病理診断に基づき、迅速に治療方針を呼吸器グループで検討し、個々の患者様の病態に応じて外科手術、内科的薬物療法、放射線治療への速やかな導入に務めております。術後補助化学療法、再発治療に関しても、患者様にさらに良好な治療環境を提供できるようになりました。

また、気胸や膿胸に対しては、内科的保存的な治療（持続脱気・排液）から開始するものの、外科的治療（手術）のタイミングを逃さないように、入院時から呼吸器内科と呼吸器外科が連携して診療しています。また各診療科とも連携して、速やかな診断確定と治療導入を目指しています。日々進歩する最先端の呼吸器診療を取り入れながら、最良の治療を提供するように努めて参ります。

お困りの患者さんがいらっしゃいましたら、気軽にご紹介ください。

今後ともよろしくお願いいたします。



呼吸器合同カンファレンスの写真（図2）

肺癌診療に対しては、網羅的な遺伝子変異解析、分子標的薬の新規開発、がん免疫療法の導入等のめざましい技術革新のおかげで、難治性の進行肺癌でも、長期生存が期待できるようになってきました。一方で、高度化してきたため、そのマネジメントも難しくなっています。当院では、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線診断科・放射線治療科・病理診断科の5診療科合同で、定期的（毎週金曜日夜）に症例検討会を開催して、個々の患者さんに最適な治療を届けられるように努めています。

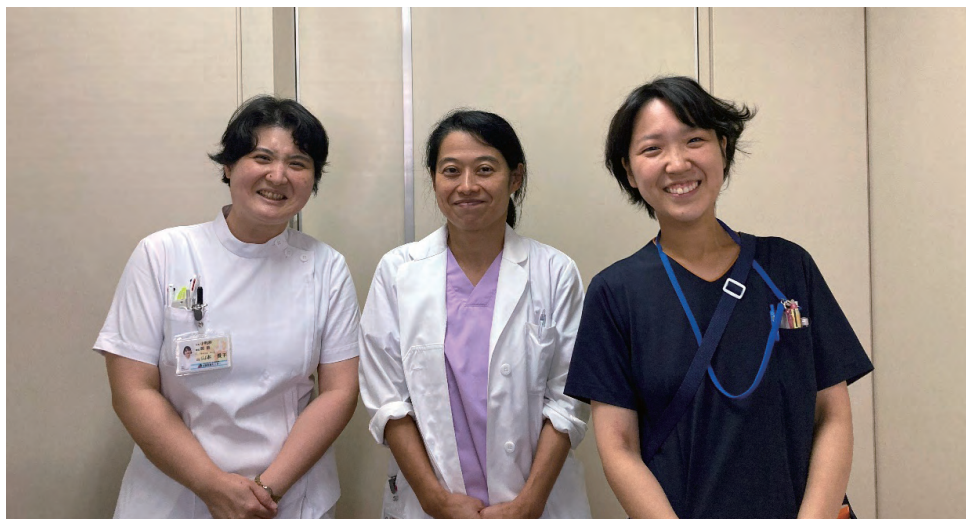


気管支鏡検査（図3）1階透視室にて



手術中写真（図4）

小児科



左から 山本景子 岡田陽子 前川加奈美

平素より大切な患者様をご紹介頂き有難うございます。

当院小児科では、COVID-19の流行後からは、ご紹介頂いた発熱患児に対して、鼻腔から採取した検体で多項目PCRを施行し、マイコプラズマや百日咳や各種ウイルスを含めた19種類の病原体感染の有無について検査しております。PCR検体の採取のために発熱外来を調整しますので、受け入れ時間をお伝えするのに少々お時間を頂くこともあるかと存じますが、当院小児科で対応可能な症例は受け入れさせて頂きますので今後ともご紹介を頂けますと有難く存じます。

当科には小児科専門医の常勤医師が3人おり、それぞれが小児科サブスペシャリティー分野の専門医でもあります。

小児内分泌疾患は山本が、小児発達は前川が、小児循環器疾患は岡田が担当しています。また、大阪大学小児科のサポートにより、小児神経外来が月に1回あります。

2023年10月からは小児アレルギー外来が開始となります。

現在、奈良医大小児科から、週に1度、発熱児の診療をして下さる医師を派遣して頂いています。

当科では以下の疾患に対応しております。

小児内分泌

低身長	外来でアルギニンやクロニジン負荷試験をしています。
思春期早発症、遅発症	
小児肥満	
体重増加不良	
夜尿症	ミニリンメルトの処方、アラーム療法ともに可能です。

小児発達

発達のおくれ	臨床心理士がWISC-IV、新版K式発達検査を用いて評価しています。
神経発達症の診断、フォローアップ、処方	PARS-TR、ADHD-RS、MSPAなどを用いてASD、ADHD等の診断を行っています。コンサータ、ストラテラ、インチュニブ、メラトベル等の処方可能です。
心身症が疑われる症例	パーソナリティ検査（描画、PF、FCT）等必要に応じて臨床心理士が行い、カウンセリングを行うこともあります。児童精神科の介入が必要と思われる症例は専門病院に紹介させていただきます。
起立性調節障害	新起立試験が可能です。

LD が強く疑われる症例は他院にお願いしています。

小児循環器

心雑音	
胸痛精査	
心電図異常	
川崎病罹患後冠動脈評価	
不整脈の精査	

心エコー、安静時心電図、マスター負荷心電図、ホルター心電図等で評価し、必要に応じてセンター病院に紹介させていただきます。外科治療が不要な心疾患（小さなVSDやASD、軽度のPSなど）の児のフォローアップも可能です。

小児アレルギー

食物アレルギー	
喘息	
アトピー性皮膚炎	

2023年10月
開始予定です。



気になる成長曲線の方や、夜尿症の方など、お気軽にご相談ください。（山本）

心疾患を疑うお子さんがおられましたら、スクリーニングをさせていただきますので、ご相談ください。（岡田）



お子さま、ご家族の方がお話ししやすい雰囲気診療を心がけておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。（前川）



予約方法について

当院では、インターネットによる予約受付を行っております。

これにより、あらかじめID、パスワードを取得していただいている地域医療機関の先生には、インターネット経由でダイレクトに初診予約を取得していただけるようになりました。病院・診療所の診察室で患者さんと一緒に当院の受診日時まで決めていただけるため、何度も連絡していただく手間がなくなります。すでにご利用いただいている先生からは、おおむね好評をいただいております。

ただ、現状ではまだまだ不十分な点もあります。例えばシステム上、診療情報はインターネット経由ではなく従来通りFAXでの送信をお願いしております。

また特定の医師の予約ではなく診療科の予約にとどめさせていただいています。通常の外来診療の間に予約が入るため、予約時間に来院されてもお待ちいただくこともございます。

今後、従来のFAXによる予約とインターネット予約を併用しながら運用してまいります。インターネット予約がより安全で簡単・便利になりますよう、当院医療情報部でシステムの改良を進めてまいりますとともに、運用の改善を図ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



インターネット予約のID・PASSの発行希望の場合は、下記メールアドレス（**QR CODE①**）に病院名・お申込者名・お電話番号・FAX番号・住所を明記の上送付して頂きますと、当院地域医療連携室係よりID・PASSの発行を送付させていただきます。

また、インターネット予約へのアクセスは**QR CODE②**を、インターネット予約のマニュアルは**QR CODE③**を読み取っていただけますと幸いです。

QR CODE①

ID・PASS申込
メールフォーム



408-comonh@mail.hosp.go.jp

QR CODE②

インターネット
予約ページ



<https://info.onh.jp/fmi/webd>

QR CODE③

インターネット予約
マニュアル



マニュアルPDF掲載ページへ

診療科及び地域医療連携室の紹介

診療科の紹介

脳神経内科	循環器内科	腎臓内科	呼吸器内科
消化器内科	感染症内科	血友病科	血液内科
糖尿病内分泌内科	外科	消化器外科・肛門外科	呼吸器外科
乳腺外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科
泌尿器科	総合診療科	産科	婦人科
眼科	耳鼻咽喉頭科頭頸部外科	小児科	皮膚科
精神科	形成外科	放射線診断科・ 放射線治療科	麻酔科
リハビリテーション科	口腔外科	臨床腫瘍科	緩和ケア内科



地域医療連携室の紹介

- ① 受診・かかりつけ医のご案内
- ② 他院への受診や入院、他施設への入所等に関する連絡調整
- ③ 再診予約変更センター（平日午後1時～午後4時）
- ④ セカンドオピニオンのご案内・ご予約
- ⑤ 病床管理
- ⑥ 医療・看護相談、退院支援・調整に関するご相談
- ⑦ 市民講座、学術講演会、研修会などのご案内
- ⑧ 大阪医療センターニュース（ONHニュース）の発行

* 看護・保健に関するご相談は、地域医療連携室が対応致します。

* 医療福祉に関するご相談は、医療相談室の医療ソーシャルワーカーが対応致します。

おおさか健康セミナー



「いつまでも家で過ごしたい」

あなたと家族のための講演会

～フレイル予防と介護のあれこれ～



2023年11月18日 **土** 14:00～16:30

場所：大阪医療センター
災害医療棟3階

参加費無料(予約制)

- 日常生活に支援が必要な状態とは、病気とフレイルについて
- オムツ交換、皮膚の話
- ねがえり、立ち上がり、歩くことの手助け
- 栄養について
- むせずにおいしく食べる
- 肺炎予防、オーラルケア

お問合せ先

大阪医療センター 地域医療連携室

☎ 06-6946-3516

FAX 06-6946-3517

主催

大阪医療センター 地域医療連携推進部

大阪医療センター

がん相談支援センター

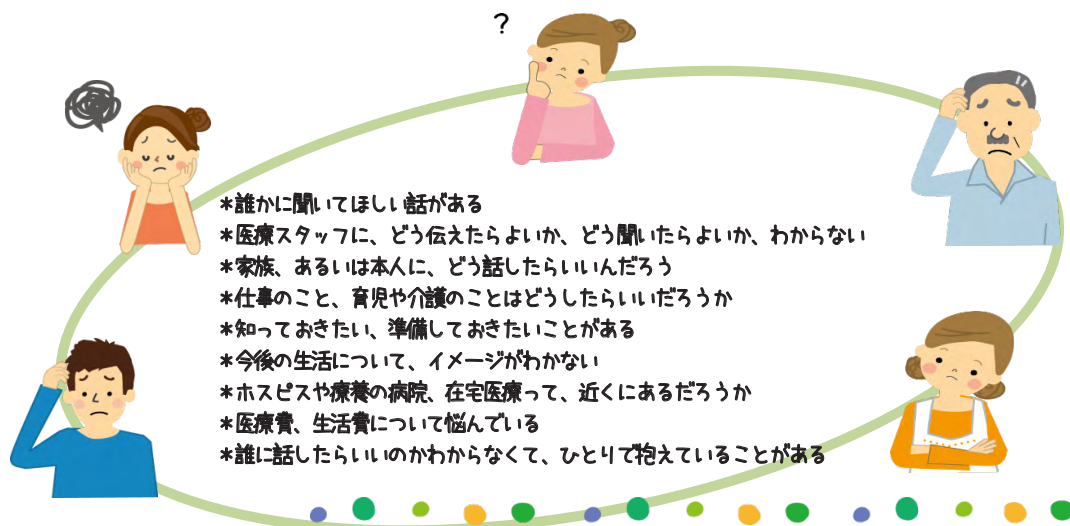
のご案内



患者さん・ご家族が、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、あなたらしい生活が送れる方法を一緒に考えます。
一度、ご相談に来られませんか？

相談は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。

- * 匿名でのご相談も可能です。
- * 相談で知り得た内容を、相談者の同意なく第三者（主治医等を含む）に伝えることはありません。ご安心ください。



ご入院中の方は、ご希望により病室までお伺いします。
また、当院で治療されている方でなくてもご相談をお受けいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

〔月曜日～金曜日〕 10:00～16:00

外来休診日はお休みです

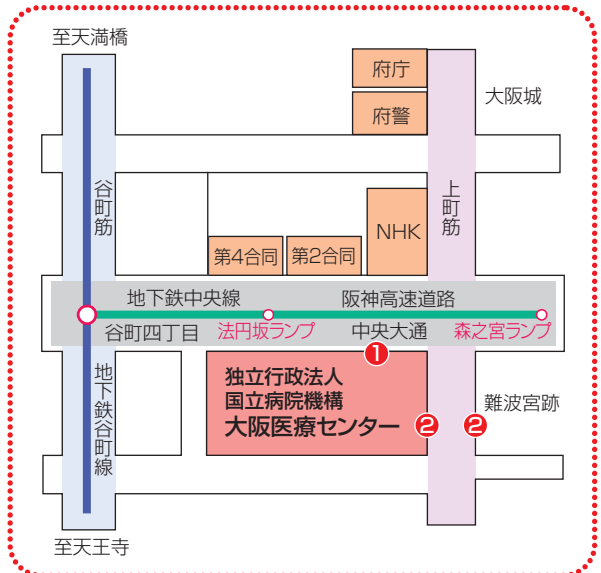
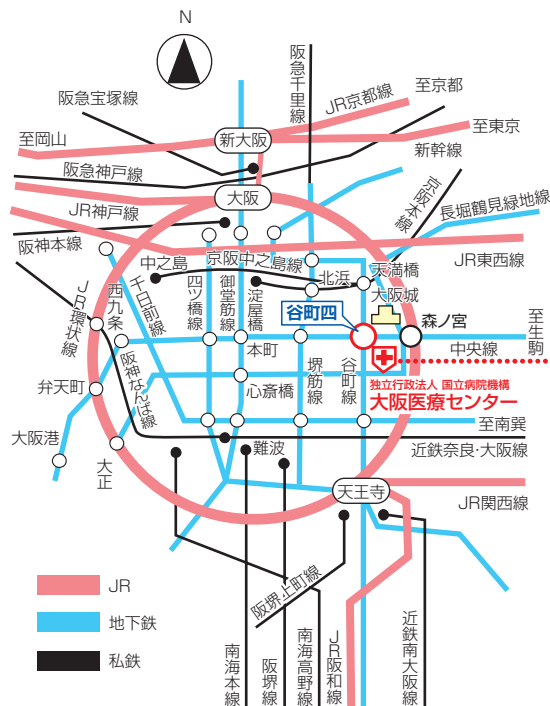
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
実施中です



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え
「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バ ス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。